

# 入 会 案 内

そば打ち同好会/麵好<sup>めんず</sup>クラブ

- 初めに
- 入会手続き
- 会の規約（抜粋）
- 入会時の費用
- 指導方法について
- 麵好クラブの目指すもの
- そば打ち体験会&交流会

麵好（メンズ）クラブ 会長 岩丸富男

[uoza-soba-mclub@docom.ne.jp](mailto:uoza-soba-mclub@docom.ne.jp)

090-5353-8738

## ○初めに

そば打ちを習いたい、覚えたいという方はたくさんいらっしゃるようですが本格的に習うには道具類を揃えるだけでも大変な費用が掛かります。

また、そば打ち教室等でそば打ち体験を経験された方もいるようですが、なかなか「細くて長いそば」とならないで困っている方も多いようです。

このような方を含め入会を希望する方々が増えていることもあり、入会案内書を作成しました。

## ○入会手続き

会の規約、入会時の費用、指導方法等について納得したら「入会申込書」に会費と入会金等の費用を添付の上で入会申し込みをしてください。

## ○会の規約（抜粋）

次に記載する規約の抜粋をもって、これから入会される方の規約とします。

（会の目的）

- 個人の趣味としての「そば打ち」から仲間との交流・連携によるクラブ活動を目指しています。クラブの活動内容等については「蕎麦打ちクラブNO1を目指して！」に書かれています。
- 最終的には、地域に根ざした草の根活動を目指したいと考えています。そのためにも支部ごとの活動に注力したいと考えております。

（会の運営）

- 会の運営は会長と数名の事務局が中心になって行っていますが、個々のメンバーにも道具係り、会場係り等の役割を分担してもらい運営しています。
- 会の運営は会費とイベント（そば打ち体験会、試食会等）収入で賄われております。3支部体制（利府、松森、泉）となっており支部で企画・開催する懇親会等にも積極的に参加して交流ならびに意見交換をしてください。

（会員としての務め）

- 会費  
年会費一万二千元（半期六千元一括納入）と入会金の納入をもって会員資格が得られます。なお、半期分は前納となっており退会しても返金はしません。年度は1月から6月までを上期、7月から12月までを下期とします。なお、途中入会者の会費は半期の残月数に千円を乗じた金額となります。入会申し込み時に入会金と合わせて一括納入してもらいます。
- 会費納入期限と会員資格  
会費支払を持って会員登録が行われます。従って会費未納のまま2ヵ月を過ぎると自動退会となります。入退会は個人の意思であり自由ですが、退会する場合は事前連絡をお願いします。

## ○ 役割分担

入会から半年程度は役割等を持たずに「そば打ち」技術の習得に努めてもらいますが、一定期間が過ぎたら何らかの役割分担をお願いします。役割としての最終目標は「そば打ち講師役」となります。人に教えることで自分の技術レベル向上が計れることは勿論ですが、仲間の輪を大きくしていくことが会の最大の目標だからです。詳細は本（そば打ちクラブNO1を目指して!）を読んでもらうとご理解いただけると思います。

## ○ 出欠連絡

月例会を含むイベントへは本人から支部長あるいは事務局への出席連絡が必要です。会（クラブ）の運営とも関わりますが会が目指すのは、サロン（談話室）的なものではありません。全員参加による自立と連帯です。蕎麦粉手配には数日を要します。なかでも製粉したての蕎麦粉を分けてもらうためには製粉会社との取り決めがあります。日曜日にそば打ちをする場合、前週の火曜日には発注します。原則として開催日の5日前に連絡必要。メンバーへのスケジュール連絡は3ヶ月分を一斉メールで定期的に会員の携帯電話アドレスへ行います。連絡はパソコンから個人の携帯電話へメールします。スケジュール連絡メールが確実に届いているか確認願います（パソコンからのメール受付拒否設定となっている場合は解除が必要です）。ミーティングがありますので、会の開始10分前には集合するように心がけてください。また、参加が遅くなる、あるいは早めに帰る場合は一言連絡をお願いします。連絡を徹底することで「ゆるやかな連帯」「自由意志によるメリハリのある活動」を目指しております。なお、月例会連絡先（原則支部長宛）は毎月配布するクラブスケジュール表にありますのでご確認ください。

## ○ 入会時の費用

### ○ 入会費用内訳は次の通りです。

入会金	6,000円
制服代金	5,000円
年会費	6,000（半期分を前納※、運営費、会場使用料他）
	※半期途中入会は月千円×月数
本代金	2,000（蕎麦打ちクラブNO1を目指して）の購入は任意ですが、入会時の購入をお勧めします。

## ○ 指導方法について

人に物事を教えることは大変難しいものです。なかでも「そば打ち」は匠の世界です。簡単な手順書はありますが、それだけでは不十分です。

そば打ちを始める場合、最初が肝心です。月に一回の月例会で数年掛けて覚えるよりは、短期集中の方が技術習得には良いようです。同様に一度担当した講師から引き続きアドバイスを受けることで体系的でぶれない指導が初心者にとって一番わかりやすいものであると考えます。

蕎麦打ち体験会等のイベント開催を含め、初心者あるいは入会希望者へのそば打ち技術の公開が必要と考えております。そのためにも、「そば打ちQ&A」および「新入会員指導要領」を拡充して、最終的には文書化する予定です。

以上